

沿革



高商時代の閲覧室（大正5年頃）

年	月	図書館	大学
1910(明治43)年	3月		文部省直轄諸学校官制改正により、小樽高等商業学校を設置
1911(明治44)年	5月	開校により図書室を附設開館、大西猪之介教授が初代主幹に就任	新入学生徒の宣誓式、授業開始
1912(明治45)年	5月		第1回開校記念式
	6月	図書館開館	
1914(大正3)年	3月		第1回卒業式
1920(大正9)年	5月	蔵書1万冊	
1923(大正12)年	12月	大西猪之介教授の遺族より蔵書1,937冊の寄贈(大西文庫)	
1925(大正14)年	6月		学生新聞『緑丘』創刊
1926(大正15)年	4月		第14臨時教員養成所を併設
	7月		『商学討究』創刊
1930(昭和5)年	3月		第14臨時教員養成所を廃止
	12月	図書館書庫が新築落成	新講堂落成、教室増築
1931(昭和6)年	4月	蔵書3万冊	
	12月		図書館裏にシャンツェ竣工
1932(昭和7)年	1月		校歌の制定
1935(昭和10)年	4月	伴房次郎前校長より蔵書367冊の寄贈(伴文庫)	
1936(昭和11)年			創立25周年

1937 (昭和 12) 年	12 月	教官図書閲覧室の増築	
1938 (昭和 13) 年	7 月	手塚寿郎教授がフランス留学中に蒐集したシエルの蔵書 1,455 冊を購入 (シエル文庫)	
1944 (昭和 19) 年	3 月	蔵書 5 万冊	
	4 月		文部省直轄諸学校官制改正により、小樽高等商業学校を小樽経済専門学校に転換 北海道経済研究所を北方経済研究所に改組
	9 月		『商学討究』を『北方経済研究』に改題、刊行
	12 月	小樽市板谷宮吉氏より手塚寿郎教授がフランス留学中に蒐集した 6,519 冊の寄贈 (手塚文庫)	
1949 (昭和 24) 年	3 月	小樽経済専門学校昇格期成会より東京商科大学鬼頭仁三郎教授の蔵書 1,603 冊の寄贈 (鬼頭文庫)	
	5 月		国立学校設置法により小樽商科大学が設置され商学部に経済学科と商業学科を設置 初代学長大野純一 経済研究所設置 (前身: 明治 44 年産業調査会、昭和 8 年北海道経済研究所、昭和 19 年北方経済研究所)
1950 (昭和 25) 年	12 月	蔵書 7 万冊	『商学討究』復刊第 1 号、 『人文研究』創刊
1951 (昭和 26) 年	3 月		国立学校設置法改正により、旧制小樽経済専門学校を廃止
1952 (昭和 27) 年	3 月		国立学校設置法改正により、短期大学部 (夜間) を併設
1953 (昭和 28) 年	4 月		商業教員養成課程を設置
1954 (昭和 29) 年	4 月		商学専攻科 (経理経営学専攻) を設置
1955 (昭和 30) 年	12 月	松田新氏 (小樽高等商業学校第 1 回卒業生) の遺族より蔵書 642 冊の寄贈 (松田文庫)	

1957 (昭和 32)年	3月	附属図書館書庫が新築落成	
1960 (昭和 35)年	3月		智明寮竣工
	12月	蔵書 10 万冊	
1961 (昭和 36)年	7月		創立 50 周年 『緑丘五十年史』刊行
1964 (昭和 39)年	3月		学生会館竣工
	11月		計算センター開設
1965 (昭和 40)年	3月		体育館竣工
	4月		管理科学科設置
1967 (昭和 42)年	9月	附属図書館 (3 階建延べ 1,917 m ²) が新築落成	
	11月	司書係を整理係と運用係に再編	
1969 (昭和 44)年	8月		緑丘戦没者慰霊塔建立
1970 (昭和 45)年	3月	早川三代治教授の蔵書 9,336 冊の一部を購入、その後遺族より寄贈 (早川文庫)	
1971 (昭和 46)年	3月		専攻科廃止
	4月		大学院商学研究科 (経営経 理専攻) を設置
1975 (昭和 50)年	5月	運用係を運用係と参考係に再編	
	11月	室谷賢治郎教授の遺族より蔵書 4,097 冊の寄贈 (室谷文庫)	
1976 (昭和 51)年	2月		『小樽商科大学史 -開学六 十五年-』刊行
1978 (昭和 53)年	4月		商業学科の拡充改組 (商学 コース・経営法学コースの 2 コース設置)
1979 (昭和 54)年	3月	附属図書館増築 (1,271 m ²)	
		附属図書館正面玄関入口の左右の壁にラテン語の諺「ARS LONGA VITA BREVIS」(生命は短く, 学術は永い) を掲示	
		蔵書 20 万冊	
1981 (昭和 56)年	7月	創立 70 周年記念行事の中で資料展示会を開催	創立 70 周年
1982 (昭和 57)年	12月	「古瀬文庫を贈る会」より古瀬良則一橋大学名誉教授の蔵書 1,699 冊の寄贈 (古瀬文庫)	
1983 (昭和 58)年	12月	大野純一初代学長の遺族より蔵書 1,280 冊の寄贈 (大野文庫)	

1985 (昭和 60)年	3月		計算センター竣工
1986 (昭和 61)年	6月	創立 75 周年記念行事の中で南亮三郎文庫を公開、本学沿革資料展示会を開催	創立 75 周年
1989 (平成元)年	5月	蔵書 30 万冊	
1991 (平成 3) 年	7月	創立 80 周年記念行事の中で貴重図書展示会を開催	創立 80 周年
	10月		商業学科(商学コース、経営法学コース)を商学科、企業法学科に、管理科学科を社会情報学科に改組、4学科1課程、夜間主コース設置、言語センター設置、短期大学部廃止
1994 (平成 6) 年	3月		大学会館竣工
	12月	附属図書館増築(988㎡)	
1996 (平成 8) 年	2月		国際交流センター設置
	3月		併設短期大学部(夜間)廃止
1997 (平成 9) 年	4月	図書館ホームページ開設	
	5月	第1回ライブラリー・ツアー実施	札幌サテライト開設
	6月	メアリ・ウルストンクラフトの「女性の権利擁護(1792年、初版)」とジョン・スチュアート・ミルの「女性の従属(1869年、初版)」を入手、「資本論」などの貴重図書70点を一般公開	
	9月	学外一般利用者に蔵書を公開(貸出)	
1998 (平成 10)年	2月	「百科全書」初版本入手記念の公開展示会・講演会を開催	
	7月	貴重図書展示会・講演会を開催	
1999 (平成 11)年		映像資料視聴コーナーを設置、ビデオ、DVD資料の提供を開始	
		電子ジャーナルへの対応を開始	
	4月	アウグスト・ベーベルの「『婦人論』(原題は『婦人と社会主義』)(1895年版)」を入手	経済研究所を改組、ビジネス創造センター設置
	7月	貴重書展示会・記念講演会を開催	
	9月		国際交流会館竣工
2000 (平成 12)年	3月	蔵書 40 万冊、雑誌 9 千タイトル	
	4月		経済研究所を改組、ビジネス創造センター設置(省令施設)

2001 (平成 13)年	7月	創立90周年記念行事の中で貴重図書展示会及び記念講演会を開催	創立90周年
2002 (平成 14)年	3月		『小樽高商の人々』刊行
2004 (平成 16)年	4月	日曜開館(試行)の開始、平日・土曜の開館時間の延長	国立大学法人・小樽商科大学に移行 大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻設置
	9月	貴重図書展示会を開催	
2005 (平成 17)年	4月	祝日開館(試行)の開始、日曜開館の本実施	
	6月	伊藤整生誕百年記念企画展を開催	
	9月	アスベスト除去工事の実施に伴い、臨時休館(1階書庫部分開館:平成17年10月~平成18年5月)	
2006 (平成 18)年	3月		体育館竣工
	4月	祝日開館の本実施	
	12月	障害者等への図書宅配貸出サービスを開始	
2007(平成 19)年	2月	入館管理システムの導入	



伊藤整生誕百年記念企画展(2005年6月開催)